

令和8年2月20日

「ト一横」等における青少年・若者の
被害等の防止に係る情報連絡会
(第6回)

東京都 都民安全総合対策本部 総合推進部 都民安全課



東京都は、いわゆる「ト一横」問題について、
第33期東京都青少年問題協議会答申に基づき、3つの視点から施策を実施

- (1) 被害等のリスクを抱える若者
- (2) 加害者となり得る悪意のある大人
- (3) 被害場所等となり得る空間

目次

- 令和7年度
相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の取組
- 令和7年度
相談窓口以外の取組
- 取組の方向性について

令和7年度 相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の取組

きみまも@歌舞伎町は東京都の相談窓口です。



「トー横」と呼ばれる地域に居場所を求める若い世代の悩みに対して、専門の相談員がサポートします。

安全な相談場所：歌舞伎町周辺の若者たちに、安全で、安心して相談できる場所を提供します。

相談サポート：軽食や無料Wi-Fi、充電器などがあり、ひと休みしながら信頼できる人と話せます。

セーフティネット：若者の悩みや問題について、行政機関や支援団体とともに解決を図ります。

対象者：未成年から39歳までの青少年・若者（家族の相談も可能）

利用時間：火～土曜日の15時～21時（年末年始、祝日を除く）

スタッフ：社会福祉士や心理士、看護師などの相談員が対応

場所：新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア17階



公式HP



～若者たちが抱えている課題の例～

- ・家庭や学校のトラブルにより、居場所を見つけることができない。
- ・仕事や住まいが定まらず、安定した暮らしができていない。
- ・性被害や金銭トラブル、暴力など、犯罪等のリスクにさらされている。
- ・生きづらさを抱え、オーバードーズ（市販薬の乱用）やリストカットをしている。



若者たちの、犯罪被害の防止や悩みの解決を目指しています。

皆さまのご協力をお願いします。

一人ひとりと生きるまち。



令和7年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

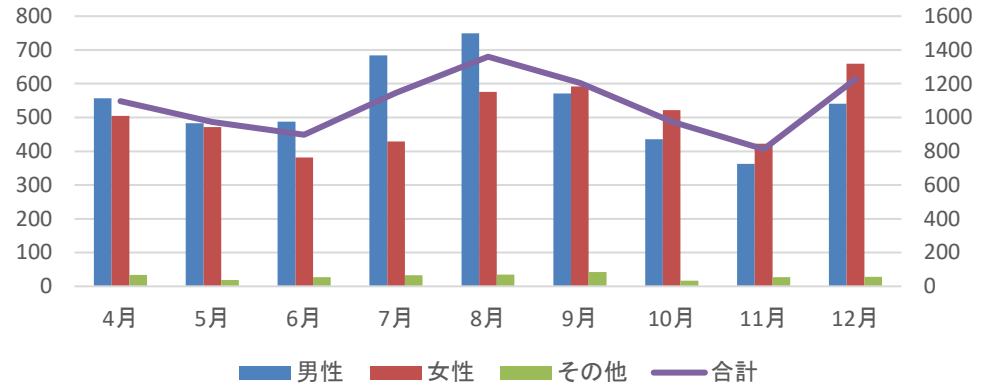
集計：令和7年4月1日から
令和7年12月31日まで

※ 数値はのべ数
統計の構成比の数値は、四捨五入しているため、
内訳の合計が100%にならないことがある。

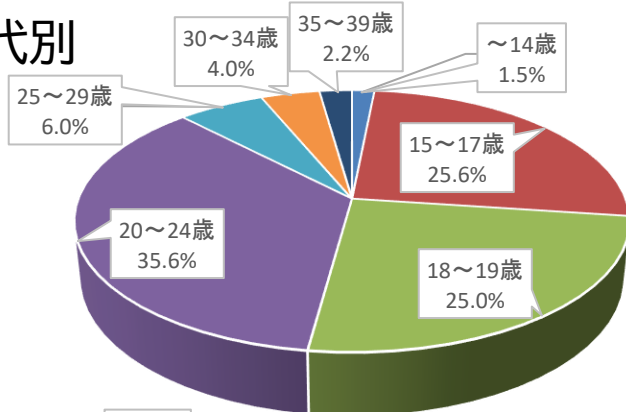
・利用者数(全体)

9,693人
(51人/1日)

・利用者数(月別)

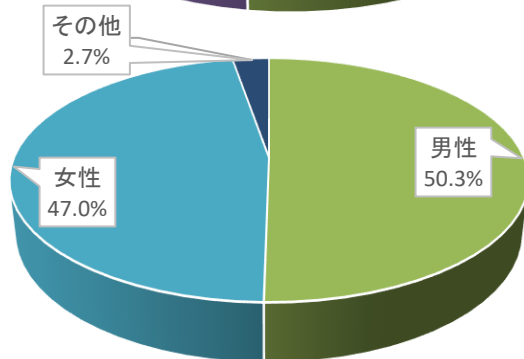


・年代別



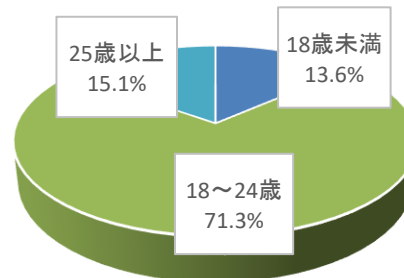
18歳未満が3割弱、10代で5割強
20代前半が最も多く、3分の1強を占める

・性別

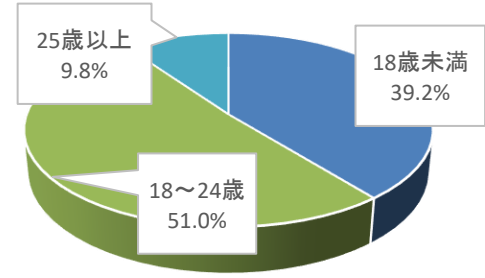


男女間でほぼ同率

年代別(男性)



年代別(女性)

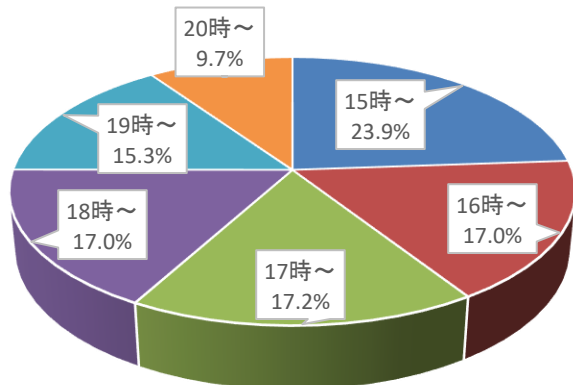


男性は18～24歳の割合が非常に高く、
女性は18歳未満が約4割

令和7年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

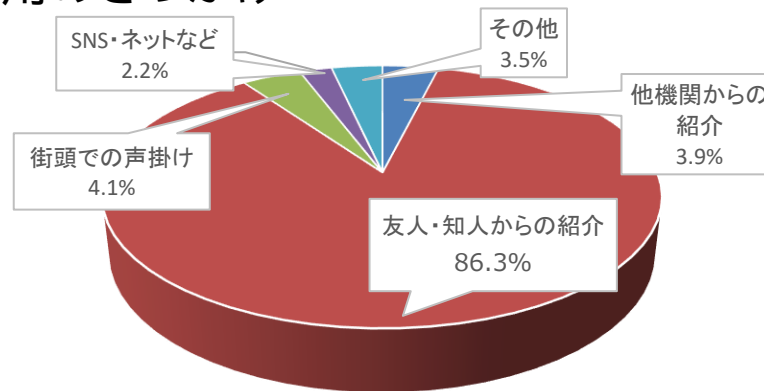
集計: 令和7年4月1日から
令和7年12月31日まで

・ 時間帯別来所数



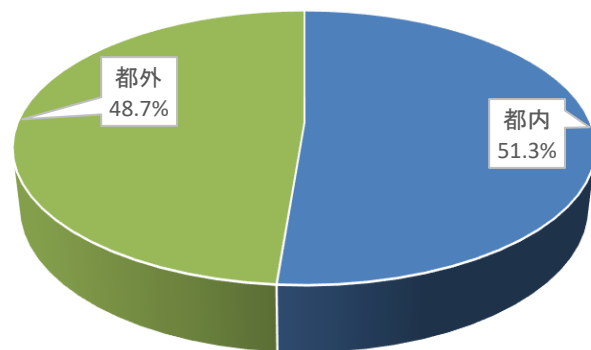
来所時間がバラけている傾向はR6と同様だが、遅めの来所がやや増えている

・ 利用のきっかけ



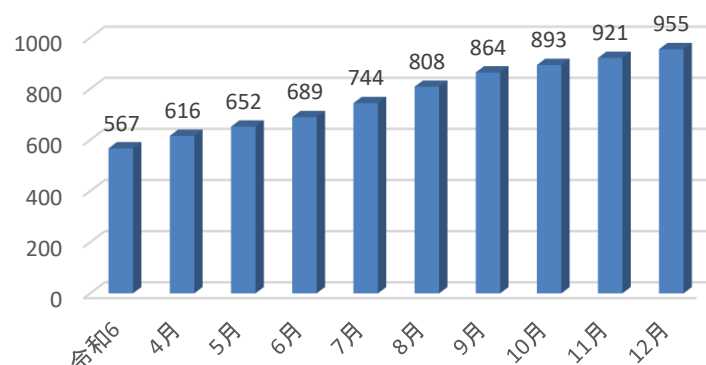
R6に比べ、友人・知人からの紹介の割合がさらに増えている

・ 居住地



都外/都内は、ほぼ同率

・ 登録状況の推移(累計)



今年度も、新規登録は着実に増加

令和7年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

集計：令和7年4月1日から
令和7年12月31日まで

○ 外部の支援等へのつなぎ

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
生活福祉	9	4	5	5	5	5	7	7	14	61
就労・雇用	0	0	3	1	1	0	1	0	2	8
保健・医療	3	9	5	5	5	9	7	8	8	59
民間支援団体	3	6	3	1	1	1	2	5	0	22
警察	3	4	3	3	2	2	0	3	7	27
救急要請	1	1	3	2	1	1	0	0	1	10
児童相談所	1	0	1	2	0	0	1	2	5	12
教育	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
その他	2	2	3	2	0	1	3	2	2	17
合計	22	26	26	21	16	19	21	28	39	218

【つなぎ先の例】

- 生活福祉 …… 各自治体の福祉事務所、更生施設
 - 就労・雇用 …… ハローワーク、自治体の就労支援窓口
 - 保健・医療 …… 無料低額診療事業実施の医療機関、心療内科・精神科
 - 民間支援団体 …… 若年女性を支援する団体、性被害者を支援する団体
- そのほか、未成年利用者の居住自治体における児童相談所・子ども家庭支援センター、警察署 など

令和7年8月～12月における対応事例(抽出)

DVを受け、他県から避難した女性（20代後半）

- 他県在住。DV歴のある夫の暴力が妊娠を機にさらにひどくなり、地元の警察に相談したところ、実家に帰るよう促される
 - 実家でも家族からの精神的・身体的暴力があり、歌舞伎町へ逃げ、きみまもに保護を求めてきた(土曜日の夜)
- 警察への相談を提案するも、本人が拒否
- 女性支援団体のシェルターで週末を過ごし、週明けにきみまもスタッフ同行のもとで自治体の生活福祉課へ

強い希死念慮を訴えた女性（20代前半）

- 来所して間もなく、親ともめて連絡を絶ち、泊まるところがないこと、死ぬほどつらい気持ちなどを訴える
 - 3日後に再来所し、その日にビルから飛び降りることを示唆するなど、具体的かつ強い希死念慮を表明
- 警察と精神科受診を薦めるも、警察は本人が拒否し、医療は当日中の診察が難しい状況
- 丁寧な傾聴ののち、警察に保護を要請 ※ 後日に本人が再来所し、支援を継続

令和7年8月～12月における対応事例(抽出)

昼職を希望し、介護資格に挑戦した男性（20代前半）

- 前年度からの利用者。歌舞伎町で体験入店のホストをしながら生活してきた（寝泊りは主にホテルやネットカフェ）
 - 「このままではいけない」との思いから、昼職をしたいとの相談
- 就労支援事業の介護職コースに興味を示し、挑戦を申し出たため、入学を調整
- きみまもには継続的に来所しているため、生活面の助言等で支援
- 結果、同コースを修了し、資格を取得することができた。今後、就職活動予定

家庭環境に大きな問題がある女性（10代後半）

- 母、きょうだいと4名家族。母と交際中の男性から暴力を受け、野外で寝泊りする状況
 - 母は自宅を長期間留守にすることがあり、歌舞伎町で自ら生活費を稼いでいるとの説明があった。最近、自宅の水道と電気が止まったと話す
- 本人に加え、きょうだいも危険な状態にある可能性が高いと判断し、ネグレクトの要保護児童として居住地の児童相談所に通告
- 同児相で受理され、同自治体内こども家庭センターで対応することになった

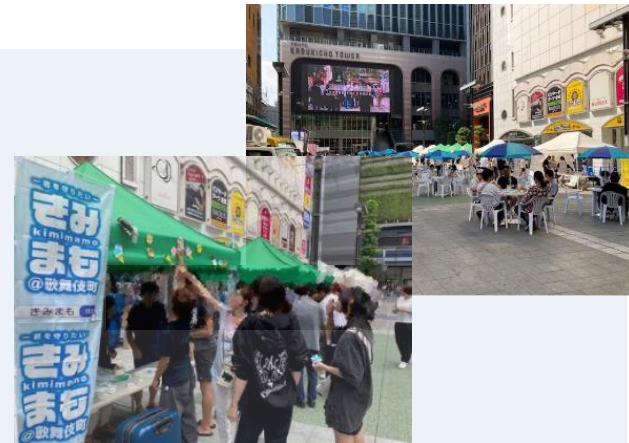
令和7年度 きみまも@歌舞伎町 8~12月のトピック

ミニイベント with ゾエ・ジャパン(8月~)

- 利用者が多様な経験を持つ大人と交流し、将来の夢を持てる場づくりを進めるため、月2回、ゾエ・ジャパンとミニイベントを実施
- 英語・異文化・ボードゲーム・クイズなどを切り口として、ゾエのスタッフが気さくに、時には英語で話しかける形で利用者に関わっている
- 初めは反応が薄い利用者も、次第に表情がほころび交流が進んでいく

ト一横文化祭 (8月24日)

- 東京青年会議所 新宿区委員会が主催
若者の自己肯定感を向上させるきっかけとすることが目標
- 当日は、42名のきみまも登録者がキッチンカーの手伝いボランティアとして参加
- 参加者からは「楽しかった」、事業者からも「ト一横キッズのイメージが変わった」など肯定的な感想が寄せられた
- 令和8年度も、キッチンカー等の手伝いのほか、絵画・クラフト展示などで参加予定



令和7年度 きみまも@歌舞伎町 8~12月のトピック

こども家庭庁「若者支援に関するオンラインシンポジウム」(9月24日)

- 地方公共団体や民間の若者支援団体を対象とした、こども家庭庁のオンラインシンポジウムに登壇。約300人が参加
- 実施後のアンケートでは、きみまもの若者に寄り添う姿勢、安心できる場の提供を評価する声が多数寄せられた



日本矯正教育学会講演 (9月25日)

- 法務省の依頼を受け、非行少年等の矯正教育に関する学会の講演に登壇し、きみまもの成果と課題などを説明
- 法務教官等の少年院関係者、法務省職員、大学関係者など300名以上が参加し、講演後は、きみまもへの視察希望や協力・寄贈の申し出が複数寄せられた



お勉強界限 in きみまも (9月26日)

- 若者たちの自主運営グループによる勉強会の3回目
- 基本は自習方式で、大学生講師が個別に教える
参加者は、練習問題に真剣に向き合い、笑顔を浮かべて学んでいた



令和7年度 きみまも@歌舞伎町 8~12月のトピック

きみまもぶっちゃんトークの日 (11月6日)

- ライフリンク及びゾエ・ジャパンとの共催で、昨年度好評だった企画を今年度も開催
- クラフト(テキスチャアート、書道等)とトークスペースを設定、参加人数は少なかったものの、自らの困難や2時間熱心に話し続ける利用者や、次回開催についての問い合わせも
- 新たな試みとして、相談員によるインタビュー形式で、自分の生きづらさと他者へのメッセージを募った。きみまも内で共有



ピアノの導入などアートの活用 (11月~)

- 全国の困難を抱える子どもや支援団体・施設などに音楽を届ける「100万人のクラシックライブ」の厚意により、電子ピアノを設置
- 設置初日から楽譜なしでクラシック曲を演奏する利用者があるなど、好感触。よりよい場づくりやイベントへの活用が期待される
- 今後は、絵画・クラフトなどアートの要素の活用も検討していく



令和7年度 きみまも@歌舞伎町 8～12月のトピック

季節のイベント

- 季節の催しとして、10月に「ハロウィン」、12月に「クリスマス」を実施
- 季節感を味わえる飾り付けの中で、相談員や仲間とともにゲーム等を楽しんだ
- カードには、様々な要望のほか、きみまもへの感謝、自身や周りの幸せを願う言葉などが書かれていた



年末年始対策（12月下旬）

- 年末年始休みへの対策として、その期間の不安や困りごとを緩和する工夫を行った
- 年末年始でも利用できる相談窓口や食料・物資配布などの支援情報を記載したWEBページを作成し、公式HP及び名刺大のカードに記載したQRコードからアクセスできるようにした
- 12月後半には、上記カードと食品・使い捨てカイロなどを詰め合わせた「年越し袋」を利用者に配布した

～きみまもからの大事なお知らせ～

きみまもは 12/28(日)から1/5(月)までお休みです
ケガや病氣しないように元気に過ごしてね

新年は1/6(火) 15時から開けて待ってます

↑ ↑

きみまものホームページ **きみまも@歌舞伎町** 相談窓口のリンク先

年末年始、困ったときは

きみまもが休みの間に相談できる(語ができる)窓口です
困ったとき や つらいときは連絡してください

はつおぶ
レスキューラブ
きみまも

ホームケアセンター
きみまも

- 犯罪・トラブルへの対処

闇バイトや口座売買、仲間内の金銭トラブル、売買春、性トラブル
法・規範知識の少なさ、加害者にも被害者にもなりやすい状況

- 利用者の希死念慮への対応

自死や事故などに関連する発言が多い
1人の死が、人間関係を通じて大きな影響を及ぼすことも

- オーバードーズ(OD)や心身の不調への対応

生きづらさから逃れるためのリストカット・ODが非常に多い
発熱、性感染症などの体調不良、精神科への受診が必要なケースも多数

- スタッフの負担の増加

深刻・複雑なケースが増え、相談員の負担軽減やスキルアップが必要
寄り添って支援している中で、利用者との距離感も課題に

令和7年度 きみまも@歌舞伎町の運営(まとめ)

- きみまも@歌舞伎町は、若者にとって安心してひと息つける場であり、セーフティーネットへつながる(支援へスロープをかける)窓口として、一定の役割を果たしている

1日の利用数(51人)は前年度(42人)を上回り、登録数も着実に増加
相談員との信頼関係に基づき、会話が増え、支援につながる事例が増加

- 「ト一横」に集まる若者の多くは、生きづらさや困難を抱えながらも、人とのつながりを求めている、きみまもに対するニーズは高い
- 若者たちの抱えている困難は、犯罪・トラブルにかかるリスクや希死念慮・オーバードーズ等に現れる心身の課題、生活困窮など、複合的で一朝一夕には解決しないものが多い

「安全」「支援」の両面から、継続的に取組を充実していく

令和7年度 相談窓口以外の取組

相談窓口以外の取組の状況

SNSを活用したターゲティング広告

- ・ 青少年・若者に訴求力のあるタレントを起用し、歌舞伎町の裏側に潜在する危険をわかりやすく伝えるショート動画を制作
- ・ 未成年を犯罪行為等に巻き込もうとする悪意ある大人に向けた警告動画を制作
- ・ ターゲティング広告により、犯罪事例を掲載した各種ホームページに遷移を促し、注意喚起



青少年・若者に向けた啓発動画



悪意ある大人に向けた啓発動画



啓発ホームページで犯罪事例を掲載し注意喚起



街頭ビジョンによる啓発

- ・ 学校や家庭に居場所がなく、歌舞伎町を訪れた青少年・若者に向けて きみまも@歌舞伎町 を周知する動画を制作
- ・ 歌舞伎町の街頭ビジョンで放映し、悩みや不安を抱える青少年・若者へアプローチ
- ・ SNS用動画を、歌舞伎町周辺の街頭ビジョンでも放映し、青少年・若者と悪意のある大人への注意喚起・警告を発信



きみまも@歌舞伎町 PR動画

歌舞伎町タワー ビジョンで放映



相談窓口以外の取組の状況

情報連絡会の開催

「ト一横」をはじめ歌舞伎町界限における青少年・若者の犯罪被害等の防止に関する情報について、関係機関で共有するための情報連絡会を開催

(大阪市・福岡県・福岡県警がオブザーバー参加)

第5回・・・令和7年9月4日 参加数：9団体・部署

第6回・・・令和8年2月20日 参加数：11団体・部署



歌舞伎町周辺のパトロールへの参加

「ト一横」問題や大久保公園周辺の売春対策にかかる防犯活動の一環として、地元自治会及び新宿区、警視庁等と連携し、歌舞伎町周辺におけるパトロール活動を定期的実施

(月8回程度)



都は、「ト一横」等における青少年・若者の被害を防止するため、「被害等のリスクを抱える若者」、「加害者となり得る悪意のある大人」、「被害場所等となり得る空間」の3つの視点から、引き続き対策の充実を図っていく



「ト一横の問題はト一横だけでは解決しない」ことから、様々な支援機関・団体等と連携を強化するとともに、これまでに得たデータ等も活用して実態把握やノウハウの蓄積を進め、課題を共有し、問題の解決に取り組んでいく

